

女性では 40 歳代からの高血圧で認知症リスクが上昇

これまでに、高血圧と認知症との関連は示されているが、30代、40代の年齢層では高血圧が認知症リスクとなるかについてはよくわかっていない。

本研究では、5,646人の男女を対象に追跡調査を実施し、高血圧の有無と認知症発症の関連について検討した。血圧については、1964～1973年（平均年齢32.7歳）および1978～1985年（平均年齢44.3歳）の時点で測定し、認知症の発症については1996年（平均年齢59.8歳）から2015年まで追跡した。その結果、532人（9.4%）が認知症を発症した。30歳代での高血圧は、その後の認知症リスクに関連しなかったが、40歳代で高血圧だった女性では、正常血圧の女性と比べ認知症リスクが65%高かった。また、30歳代には正常血圧であったが40歳代で高血圧を発症した女性では、いずれの時点も正常血圧であった女性と比べ認知症リスクが73%高かった。男性では40歳代の高血圧と認知症に関連はみられなかった。

したがって、40代の高血圧は男性に多くみられるものの、40歳代の高血圧と認知症との関連が認められたのは女性のみであった。認知症リスクに性差があることを把握しておくことは、高血圧を管理する上で重要である。

出典：Neurology.2017 Oct 04; pii: 10.1212/WNL.0000000000004602.